

中国語教育学会会報

第 70 号(通巻 95 号) 2025 年 9 月 5 日発行

〒261-0014

千葉県千葉市美浜区若葉 1-4-1

神田外語大学 アジア言語学科

中国語専攻 植村麻紀子研究室内

中国語教育学会

Website <http://www.jacle.org/>

Email headoffice@jacle.org

郵便振替口座 00110-1-191152

目次

1. 第23回全国大会について.....	1
2. 2025年度第1回理事会報告.....	2
『中国語教育』バックナンバーの電子アーカイブ化に関するお知らせとお願い.....	8
3. 2025年度会員総会報告.....	9
4. 『中国語教育』第24号の投稿募集について.....	10
5. 2025年度の研究会について.....	10
6. 2025年度のワークショップ・交流会開催報告および今後の予定.....	11
7. 事務局からのお知らせとお願い.....	12
7.1. 会員動向.....	12
7.2. 会費納入状況確認ならびに会費納入のお願い.....	12
7.3. 退会および除籍について.....	12
7.4. 登録情報の変更について.....	13
7.5. 住所不明の会員.....	13

1. 第23回全国大会について

中国語教育学会第23回全国大会が2025年5月31日(土)および6月1日(日)の両日、北海学園大学豊平キャンパスで開催されました。初日午前中には第1回理事会が開催されました。午後は開会式に続き、基調講演として北京語言大学の鄭艷群先生をお招きし、《数智时代中文教学的新任务与策略创新》と題してご講演いただきました。その後、清原文代先生(大阪公立大学)の司会で、「AIとオタクが創る中国語教育のミライ」をテーマに、氷野善寛先生(目白大学)「これは使える!AIで作る中国語教材」、山崎直樹先生(関西大学)「学習ではなく習得を助けるAIの使い方」、杉山滉平氏(立命館大学)「AIツールをこういうふうに語学教育の授業に活用すれば良い?!」の3本から成る大変興味深いパネルディスカッションが開催されました。

夕方からの会員総会では、今年度の研究会と中国語教育ワークショップ・交流会のお知らせ、学会誌のデジタル化などについて報告されました。夜は「羊々亭」に86名が集い、情報交換会が行われ、1日目が無事終了しました。

2 日目は3つの分科会に分かれ、午前午後あわせて 22 本の口頭発表が行われました。当日のプログラムについては学会 Web ページをご覧ください。今回の大会には会員 116 名、非会員 11 名、書店・出版社 17 社 23 名の方にご参加いただきました。発表者、司会者の方々、参加して下さった会員の皆様、そして全国大会の準備にご尽力くださった第 23 回全国大会準備委員会の先生方に厚く御礼申し上げます。

2. 2025年度第1回理事会報告

2.1. 日時・場所・出席者（敬称略）

日時：2025 年 5 月 31 日（土）午前 10:30～12:30

場所：北海学園大学 豊平キャンパス

出席者：

植村麻紀子、加藤晴子、清原文代、氷野善寛、勝川裕子、佐々木勲人、杉江聡子、鈴木慶夏、西香織、長谷川賢、平井和之、古川裕、紅粉芳恵、丸尾誠、村上公一

望月雄介（『中国語教育』24 号、2025 年度編集委員会委員長）

伊藤大輔（デジタルリソース委員会委員長）

田邊鉄（第 23 回全国大会準備委員会委員長）

青野英美、黄琬婷、日高知恵実（幹事）

欠席者：

陳淑梅、中田聡美、藤井達也、三宅登之

2.2. 報告事項

2.2.1. 会員動向および会費納入状況

会員動向および会費納入状況は以下の通りである。

(1) 会員数（2025 年 5 月 13 日現在）：計 594 名

個人会員 572（通常会員 526 名、名誉会員 46 名）／団体会員 22 名

(2) 新入会者（2024 年 11 月 23 日～2025 年 5 月 13 日現在）：計 13 名（以下敬称略）

安明姫（工学院大学等・非）、石川就彦（慶應義塾大学・非）、王一萍（福岡大学）、岡上路子（なし・非）、顧彬楠（東洋大学）、姜寅星（城西国際大学）、宋新亜（関西学院大学）、陳曦（早稲田大学・特任教員）、陶佳（富山高等専門学校・非）、任鉄華（東洋大学）、姚堯（東北大学）、山崎哲（一橋大学・院）、梁瑞強（関西大学・院）

(3) 退会届提出者（2024 年 11 月 23 日～2025 年 5 月 13 日現在）：計 13 名

(4) 除籍者：全国大会終了後に再度メールによる最終通知を行ったうえで除籍処理し、第 2 回理事会で報告する。

(5) 会費納入状況（2025 年 5 月 12 日現在）：1,435,000 円

2.2.2. 2024 年度決算報告

日高幹事より、2024 年度決算について以下の 2 点を中心に説明がなされた。

(1) 収入のうち、「全国大会開催費」の 812,005 円については、純利益ではなく、開催校側が立て替え払いせずに済むよう増額していた予算¥1,300,000 からの返金額である。

(2) 支出のうち、学会誌のデジタル化のために計上した「電子化作業費」1,200,000 円は、デジタル化の作業が遅れ、実際に料金が発生する段階まで至っていなかったことから、2024 年度決算では 0 円であるが、これを 2025 年度予算で改めて計上する。

また会計監査は 2025 年 4 月 12 日に実施し、監査役員 2 名からの承認も得ていることが報告された。

(本会報 p.14【資料 1】参照)。

2.2.3. 2025 年度第 1、2 回編集委員会報告

望月委員長より、2025 年度第 1 回および第 2 回編集委員会が 4 月 19 日(土)15:00~16:00 (zoom)、5 月 9 日(金)~10 日(土)(メールによる持ち回り)にそれぞれ開催され、①『中国語教育』査読採否判断基準に関する審議、②編集スケジュールに関する審議、③「査読マニュアル」作成に関する検討をおこなった、との報告がなされた。

西理事(「査読マニュアル」ワーキンググループ長)より「査読マニュアル」案が示され、今年 10 月の第 24 号査読から運用する方向で検討中であることから、マニュアルの文言について意見がある場合は、次回の編集委員会(6月中開催)までに連絡するよう、依頼がなされた。

2.2.4. デジタルリソース委員会報告

伊藤委員長より、デジタルリソース委員会では、学会情報、全国大会情報、研究会・講演会・ワークショップ情報、外部団体からのイベントや公募情報の掲載依頼について、定期的にウェブサイトの更新作業を実施しており、また外部団体からの掲載依頼については、掲載と同時に会員メーリングリストにリマインダーを配信している、との報告がなされた。

【参考】イベント情報等の掲載フロー

○主催行事等, 学会が主体であるような告知

各担当者 → デジタルリソース委員会

○会員からの関連する他団体等の情報, 公募情報

会員 → 事務局 → デジタルリソース委員会(採否の決定は委員長)

○非会員・他団体等からの直接の掲載依頼

非会員の個人や団体等 → 事務局 → デジタルリソース委員会 → 理事会(持ち回り)で可否審議
→ (可の場合)デジタルリソース委員会で掲載, (否の場合)デジタルリソース委員会から回答

2.2.5. 2025 年度の研究会開催予定について

長谷川理事より、2025 年度の研究会担当者（東日本：杉江聡子・鈴木慶夏、西日本：長谷川賢・紅粉芳恵）、および研究会の年間開催予定が報告された。研究会の募集要項については、「発表内容は、広く中国語教育に関わるものであること。未発表のものに限る。発表内容によっては、断る可能性もあり」との文言を新たに加えた、との説明がなされた。

第 1 回：2025 年 7 月 27 日（日）（担当：西日本、オンライン開催）

第 2 回：未定（担当：東日本、11 月又は 12 月のいずれかの土日でオンライン開催）

第 3 回：未定（担当：西日本、2 月又は 3 月のいずれかの土日でオンライン開催）

募集方法、内容

- ・研究発表、授業実践報告等
- ・学会 HP で募集する（団体または個人）
- ・発表者は会員に限る（団体の場合、筆頭者一名以上が会員であれば可）
- ・応募が多い場合、発表時期は発表者と協議する
- ・応募が少なかった場合、研究会委員で企画（講演、発表依頼）を考える。次回に延期する場合もあり
- ・事前にタイトル、400 字以内の発表要旨、発表種別を提出
- ・発表内容は、広く中国語教育に関わるものであること。未発表のものに限る。発表内容によっては、断る可能性もあり
- ・発表は質疑応答を含めて 40 分以内
- ・参加費無料（非会員も参加可能）

*理事会後に決定した今年度の研究会については、本会報 p.10「2025 年度研究会について」参照。

2.2.6. 中国語教育ワークショップ・交流会開催報告および今後の開催予定

勝川理事（中国語教育ワークショップ・交流会委員会委員長）より、2024 年度第 2 回理事会以降のワークショップ・交流会および 2025 年度の年間開催予定が報告された。

〈終了分〉第 6 回 中国語教育ワークショップ・交流会

- ・テーマ：座談会 発音・ピンイン・リスニングなど音声面について／各種授業内活動について／悩み相談、テーマを定めない自由交流
- ・日時：2024 年 12 月 13 日（金）20 時～21 時 30 分
- ・開催形式：オンライン（Zoom）、参加費無料
- ・参加者数：約 15 名

〈終了分〉第 7 回 中国語教育ワークショップ・交流会

- ・テーマ：講演 語学コーチングと中国語教育

- ・講師：伊地知太郎先生（語学コーチングスクール the courage 代表）
- ・日時：2025 年 2 月 8 日（土）13 時～15 時
- ・開催形式：オンライン（Zoom）、参加費無料
- ・参加者数：約 50 名

〈開催予定〉

第8回 中国語教育ワークショップ・交流会

- ・テーマ：ワークショップ 語学教育でのコーチング導入について
- ・ファシリテーター：伊地知太郎先生（語学コーチングスクール the courage 代表）
- ・日時：2025 年 8 月 27 日（水）12 時～17 時
- ・開催形式：対面（近畿大学東京センター）、参加費無料

第9回：未定（2025 年 11 月又は 12 月、オンライン開催を予定）

第 10 回：未定（2026 年 1 月又は 2 月、オンライン開催を予定）

※開催 1 か月前までに学会 HP、ML を通じて開催日程、概要等を告知する。

※上記は理事会開催時点の情報。第 8 回の開催報告および第 9 回の予定は 8 月 28 日に会員 ML で告知済み。（本会報 p.11 参照）

2.2.7. 今後の全国大会について

第 24 回（2026 年度）全国大会開催校が以下の通り内定したことが報告された。

日程：2026 年 6 月 6 日（土）～6 月 7 日（日）

会場：慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤 5322）

大会準備委員会：宮本大輔（委員長）

第 25 回（2027 年度）全国大会の開催校に、松山大学（委員長：望月雄介）が候補として挙がっているとの報告がなされた。

2.2.8. 2025 年度第 2 回理事会開催日

2025 年 12 月 6 日（土）にオンラインで開催することが報告された。

2.2.9. 対外交流の動きについて

2024 年度第 2 回理事会以降から現在までの対外交流の動き（学会誌の寄贈・納本）が報告された。台湾の世界華語文教育学会より寄贈された『華語文教学研究』「第 22 巻第 1 期 2025 年 3 月発行」のデジタル版は、以下のリンクから参照可能である。

<https://toaj.stpi.niar.org.tw/index/journal/volume/4b1141f995d800890195efaa355806bc>

- ・本学会からは 2025 年 4 月上旬に世界華語文教育学会(台湾)及び韓国中国語教育学会(韓国)に『中国語教育』第 23 号を送付した。本学会の学会誌については、デジタル化が完成するまで引き続き郵送する。
- ・2025 年 4 月上旬に国立国会図書館に『中国語教育』第 23 号を 2 部納本した。

2.3. 審議事項

2.3.1. 『中国語教育』編集委員会関連事項

望月委員長より、『中国語教育』24 号の査読および編集スケジュールについて説明がなされ、査読採否判断基準の見直しと、それに伴う編集スケジュールについて審議がおこなわれた。査読基準については第 3 回編集委員会で引き続き審議した後、10 月の査読開始までにメールで審議し、作成中の「査読マニュアル」に盛り込むこととなった。

『中国語教育』第 24 号依頼原稿として、全国大会 1 日目の講演とシンポジウム原稿を、例年通り掲載することを決定した。

2.3.2. 2025 年度予算案

日高幹事より、事務局の提示する 2025 年度予算案について報告され、審議の結果、予算案通りに承認された(本会報 p.15【資料 2】参照)。

2.3.3. 名誉会員について

黄幹事より、名誉会員候補者の抽出をおこなった経緯が説明され、2026 年 4 月 1 日現在で条件を満たす候補者として、安部悟会員、金子真也会員、兼本敏会員、鄭亨奎会員、村松恵子会員、山田真一会員の 6 名が推挙された。審議の結果、6 名全員を名誉会員候補として会員総会に推薦することが全会一致で承認された。

2.3.4. 学会誌のデジタル化について

氷野代表理事(学会誌のデジタル化に関わるワーキンググループ長)より、学会誌デジタル化の進捗状況について説明がなされた。

ワーキンググループメンバー：石井友美・伊藤大輔・田邊鉄・氷野善寛(敬称略)

- (1) 株式会社しんこうでのスキャン作業およびデジタル化の作業はほぼ完了している。
- (2) J-Stage の登録は現在申請中であり、概ね 3 か月程度で結果が届く見込みである。
- (3) 2024 年度第 2 回理事会で決定したとおり、デジタル化の範囲は創刊号から 22 号までが対象であり、最新号(現段階では 23 号)については出版から 1 年後に公開することが確認された。
- (4) 「掲載範囲」について、ワーキンググループより「特集」は執筆者に非会員が多いことから原則不掲載、「論文」「実践報告」「その他(私の授業など)」は原則掲載とする案が示され、審議の結果、「論文」「実践報告」「その他(私の授業など)」を原則掲載とする案については、原案どおり承認された。

一方、「特集」の掲載範囲について採決をとった結果、意見が分かれたことから、ひとまず保留とし、ワーキンググループが持ち帰り、再度メール審議することとなった。

- (5)「デジタル化に伴う著作権の問題」については、2021年6月以降に発行したものは「中国語教育学会著作権規程」で対応し、それ以前のは「バックナンバーの電子アーカイブ化に伴う著作権行使の許諾に関する公告」をウェブページに掲載するとともに、会員メーリングリストなどを通じて会員に周知する案が示された。公告文の文言についての検討も進められたが、前項の「掲載範囲」の内容によっては文言が変わる可能性もあることから、本件もひとまず保留とした。

第1回理事会後にメール審議した結果、非会員については個別に連絡し、許諾が取れた方のみ掲載とした。修正した公告文を、学会 HP および会員 ML で7月5日に配信した。

(https://www.jacle.org/news_20250705/)。(本会報 p.8 参照)

『中国語教育』バックナンバーの電子アーカイブ化に関するお知らせとお願い

会員各位ならびに『中国語教育』にご執筆いただいた皆様へ

平素より中国語教育学会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本学会では、これまで刊行してまいりました『中国語教育』をはじめとする各種学会刊行物の学術的価値を広く共有し、未来の研究活動に資する学術基盤を築くことを目的として、バックナンバーの電子アーカイブ化を進めております。

このたび、過去に掲載された論文等をデジタル化し、J-STAGE 等の誰もが無料で閲覧できる電子ジャーナルプラットフォームにおいて公開する作業を開始する予定で準備をしております。これにより、多くの研究者や教育関係者が、時代を越えて本学会の知見にアクセスできるようになることを期待しております。

本学会では、2021 年 6 月に制定した「中国語教育学会著作権規程」に基づき、投稿された著作物の著作権が学会に帰属することを明確にしておりますが、それ以前に発表された論文等につきましては、著作権の取り扱いが明確でないケースがございます。

つきましては、2021 年 6 月の著作権規程制定以前に掲載されたすべての著作物につきましても、電子化・公開に伴う著作権（主に複製権および公衆送信権）の行使について、ご理解とご協力を賜りたく、ここにお願い申し上げる次第です。

本来であれば著作者の皆様一人ひとりに個別のご連絡を差し上げるべきところではございますが、人的・時間的な制約により、まずは本会ウェブサイトおよび会報等を通じたご案内という形をとらせていただきます。

本件に関しまして、電子化に同意いただけない場合、あるいはご不明な点などがございましたら、以下の期限までに書面または電子メールにて本学会事務局までご連絡ください。

【お問い合わせ・お申し出期限：2025 年 9 月 30 日】

ご連絡がない場合は、本会による著作権の行使にご同意いただけたものとみなさせていただきます。なお、非会員の方でご寄稿いただいた方や、過去に退会された著者の方や、既にご逝去された方に関しましては、そのご遺族や関係者からのお申し出があった場合、期限を過ぎましても個別に誠意をもって対応いたします。

本学会が刊行した以下の刊行物が今回のアーカイブ化の対象となります。

『中国語教育』創刊号（2003 年）～第 22 号（最新号については刊行後 1 年後に公開。『中国語教育に携わる人へ贈る本』については対象外とする）

その他学会が発行した研究会報告集や資料集等（中国語初級段階学習指導ガイドラインなど）

会員の皆様、著者の皆様のご理解とご協力を、心よりお願い申し上げます。

2025 年 7 月 5 日

中国語教育学会会長 植村麻紀子

2.3.5. 事務局保管の学会誌について

事務局で保管している会誌の数について報告がなされ、学会誌のデジタル化作業完了後は、一部を残して余剰分は処分したい、との提案がなされた。また加藤晴子代表理事より、東京外国語大学の研究室にも第1・2・3・5号が各1〜3冊、第4号が83冊保管されているとの情報が寄せられた。在庫を廃棄するか、あるいは次の全国大会で販売するかについては、第2回理事会で再審議することとなった。

3. 2025年度会員総会報告

3.1. 日時・方式

日時:2025年5月31日(土)17:10-18:00

場所:北海学園大学 豊平キャンパス

議長:加藤晴子(敬称略)

3.2. 議案第1号 2024年度決算報告

上記2.2.2.の決算報告が審議にかけられ、承認された。

3.3. 議案第2号 2025年度予算

上記2.3.2.の予算案が審議にかけられ、承認された。

3.4. 議案第3号 名誉会員の推薦

上記2.3.3.で推挙された安部悟会員、金子真也会員、兼本敏会員、鄭亨奎会員、村松恵子会員、山田真一会員の6名を、審議の結果、名誉会員とすることが全会一致で承認された。

3.5. 報告事項1 会員動向および会費納入状況

上記2.2.1.の会員動向および会費納入状況が報告された。

3.6. 報告事項2 編集委員会報告

上記2.2.3.編集委員会報告ならびに2.3.1.審議事項について報告がなされた。

3.7. 報告事項3 デジタルリソース委員会報告

上記2.2.4.の内容が報告された。

3.8. 報告事項4 2025年度研究会開催予定

上記2.2.5.の内容が報告された。

3.9. 報告事項5 2024年度中国語教育ワークショップの実施報告

上記2.2.6.の内容が報告された。

3.10. 報告事項6 学会誌のデジタル化について

上記 2.3.4.の内容が報告された。

3.11. 報告事項7 第 24 回(2026 年度)および第 25 回(2027 年度)全国大会

上記 2.2.7.の内容が報告された。

4. 『中国語教育』第24号の投稿募集について

投稿規程・執筆要領は 2024 年 6 月に一部改訂されました。投稿前に、最新の投稿規定および執筆要領を下記の学会 Web ページで確認し、学会が提供するテンプレートファイルを使用して原稿および投稿票を作成してください。なお、投稿は 2025 年 9 月 15 日までに 2025 年度までの会費を納付済みの中国語教育学会会員に限ります。

本会于 2024 年 6 月修订了投稿须知。投稿前请务必仔细确认本会网站上的最新规定。投稿须知，请参照下面网址。投稿须知目前仅有日文版，请多包涵。

<http://www.jacle.org/contribution/>

『中国語教育』第 24 号の投稿受付期間は、2025 年 9 月 13 日(土) 0:00~9 月 27 日(土) 12:00(正午・日本時間) 編集委員会宛メール必着。

原稿の MS-Word ファイルおよび PDF ファイルと、必要事項を記入した所定の投稿票 MS-Word ファイルの 3 点を contrib@jacle.org (『中国語教育』編集委員会)宛にメールに添付してご提出ください。メール送信の際の件名と添付ファイルのファイル名は指定されていますので、ご注意ください。事務局への郵送は不要です。なお、提出後 24 時間以内に受領確認のメールが届かない場合は、編集委員会に必ず問い合わせをしてください。

5. 2025年度の研究会について

第 1 回研究会は 7 月 27 日(日) オンライン開催の予定でしたが、発表の応募がなかったため、以下の通り延期されました。第2回(担当:西日本)は、2 月又は 3 月のいずれかの土日でオンライン開催の予定です。

第 1 回 研究会(運営担当:東日本)

日時:2025 年 12 月 13 日(土) オンライン(zoom)開催

<発表の応募について>

発表の応募締め切り 11 月 10 日(月) 日本時間 12:00 まで

発表を希望される方は、発表のタイトル、要旨(400 字以内)、種別(研究発表、実践報告等)を以下の応募先に連絡してください。

応募先 Email: kanto■jacle.org (■を@に代えて使用してください)

締め切り後、正式に学会 HP で日程、発表要旨を告知します。

尚、応募者多数の場合は、次回以降の研究会での発表を打診させていただくことがあります。

<注意事項>

発表内容は、広く中国語教育に関わるものであること。未発表のものに限る。発表内容によっては、お断りする可能性もあります。

発表者は会員に限る(団体の場合、筆頭者一名以上が会員であれば可)。

発表は質疑応答を含めて40分以内。

参加費無料(非会員も参加可能)。

応募が少なかった場合、研究会委員で企画(講演、発表依頼)を考える。次回に延期する場合もあり。

6. 2025年度のワークショップ・交流会開催報告および今後の予定

<終了分>第8回 中国語教育ワークショップ・交流会

- ・テーマ:ワークショップ 語学教育でのコーチング導入について
- ・ファシリテーター:伊地知太郎先生(語学コーチングスクール the courage 代表)
- ・日時:2025年8月27日(水)12時~17時
- ・開催形式:対面(近畿大学東京センター)、参加費無料
- ・参加者数:21名

第9回 中国語教育ワークショップ・交流会

◆日時:2025年11月29日(土)10:00-12:00 ◆開催形式:オンライン(Zoom)

◆テーマ:中国語教育における映画字幕翻訳の実践

◆講師:古川裕先生(大阪大学・人文学研究科・名誉教授)

◆参加資格:中国語教育学会会員(参加費無料)

◆概要:

映像の字幕翻訳は、外国語教育におけるソフトアプローチの手段として大きな可能性を秘めています。台詞のリスニングや翻訳作業だけではなく、表現の取舍選択や文化的背景の読み取りを伴うため、学習者の語彙力・表現力・理解力を総合的に育てる活動として活用できます。映画やドラマという生きた教材を用いることで、学習者の関心を惹きつつ、言語と文化を一体的に学ぶ授業設計の可能性が広がります。

また、単なる翻訳ではなく、字幕翻訳に課せられた厳しい文字数制約の中で中国語原文に対して最適な日本語表現を探す過程は、学習者に「洗練された日本語」を意識させる絶好の訓練となります。そのため、日本語母語学習者は言うまでもなく、中国語継承語・母語学習者にとっても有用性が期待できます。

今回のワークショップでは、大阪アジア映画祭において数多くの華語圏映画作品の字幕翻訳を担当し、大阪大学外国語学部での中国語実習授業にも活用してこられた古川裕先生を講師としてお迎えし、映画の一場面を取り上げ、参加者が字幕翻訳を体験します。そのタスクを通じて、教育現場でどのように授業活動に応用できるか、具体的なヒントを得ることができでしょう。今回はソニー・ピクチャーズ社のご厚意のもと、古川裕先生が字幕翻訳を担当された話題のホラーコメディ『鬼才の道』(9/19より、東京、名古屋、京都、札幌で劇場公開予定)を取り上げます。

字幕翻訳を切り口に、中国語教育の新しいアプローチを一緒に探ってみませんか。

第 10 回：未定（2026 年 1 月又は 2 月、オンライン開催を予定）

※開催 1 か月前までに学会 HP、ML を通じて開催日程、概要等を告知する。

7. 事務局からのお知らせとお願い

7.1. 会員動向

(1) 会員数（2025年8月31日現在）：計593名

個人会員 571名（通常会員 525名、名誉会員 46名）／団体会員 22名

(2) 新入会者（2025年5月 14 日～2025 年8月31日現在）：計 10 名（以下敬称略）

山口早苗（慶應義塾大学）、阿部沙織（拓殖大学）、岡野優大（大阪大学・院）、夏麒麟（なし・非）、高寧（北京語言大学東京校）、趙萍（東京理科大学・非）、李丹（創価大学）、劉佳鑫（埼玉県立和光国際高等学校・非）、千田英司（東海大学・非）、比護遥（金沢大学）

*登録年度の会費納入をもって「会員」となりますのでご注意ください。

(3) 退会者（2025年 5 月 14 日～2025年8月31日現在）：計1名

(4) 除籍者：（以下9名・敬称略）喜多山幸子、林銘珊、王培、白煜、孟醒、湯浅英未、李媛、劉柏林、林小燕

7.2. 会費納入状況確認ならびに会費納入のお願い

『中国語教育』第 24 号にご投稿をお考えの方は、2025 年 9 月 15 日までに 2025 年度までの会費が納入されていないと投稿資格がありませんので、お早めにご納入ください。

『中国語教育』投稿規程 <http://www.jacle.org/contribution/>

会費納入状況は会員自身で Web 版会員名簿（会員情報管理システム）にて確認することができます。

Web 版会員名簿 <https://a-youme.com/aymms/jacle/login>

4 月に郵送した払込取扱票を紛失された場合は、郵便局に備え付けの「払込取扱票」を使用して、下記の郵便振替口座に送金してください。その場合には、通信欄に氏名および会員番号を、会員番号がわからなければ、氏名に加えて学会に登録している住所を必ずご記入ください。

[口座記号－口座番号]00110-1-191152 [加入者名]中国語教育学会

7.3. 退会および除籍について

退会を希望される方は、当該年度までの会費をすべて納入した上で、学会サイトの「Web 版会員名簿・変更手続き」にログインして退会手続きを取っていただきますようお願いいたします。なお、会則第 5 条に基づき除籍になった会員は、氏名が会報に掲載されますのでご注意ください（会報は学会 Web サイトで公開）。退会届が受理された場合、退会者の氏名は掲載いたしません。

7.4. 登録情報の変更について

本学会では、会員の個人情報につきまして、各会員ご自身により入力していただくことになっております。所属や連絡先、郵便物の送付先等に変更が生じた場合は、本学会 Web サイトにリンクされている「Web 版会員名簿」にログインして、ご自身で変更していただきますようお願いいたします。

10月1日より、会員相互の検索システム（従来、紙で発行されていた「会員名簿」に代わるもの）が稼働予定です。また、11月には理事選挙もございます。候補者名簿は9月30日時点の会員宛に郵送されますので、所属や住所に変更があった方は9月30日までに必ず更新をお願いいたします。

Web 版会員名簿 <https://a-youme.com/aymms/jacle/login>

Web 版会員名簿(会員情報管理システム)の運用については、あゆみコーポレーションに委託しております。Web 版会員名簿に関するお問い合わせは下記のあゆみコーポレーションまでお願いします。

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4-8 日栄ビル703A

あゆみコーポレーション内中国語教育学会事務局事務代行

E-Mail:support@jacle.org

TEL.06-6441-5260(代) FAX.06-6441-2055(代)

あゆみコーポレーションは複数の学会の事務局代行を行っており、電話番号、ファックスとも他学会と共通で使用しているため、ご連絡の際には「中国語教育学会」についての問い合わせであるということを必ずお伝えください。

7.5. 住所不明の会員

下記の4名の会員が住所不明で学会からの郵便物が返送されてきています。連絡先をご存知の方はあゆみコーポレーション内の事務局事務代行(support@jacle.org)までご連絡ください。

(以下、敬称略)王淑貞、金敬玲、申慧敏、張尋

過去に住所不明で郵便物が返送された方も、Web 版会員名簿の住所登録変更がない限り再送できませんので、所属変更や転居の際には上記7.4の方法で登録変更をお願いいたします。

【資料Ⅰ】2024 年度会計決算書

中国語教育学会 2024 年度会計決算書

	収入		支出	
	2024 年度予算	2024 年度決算	2024 年度予算	2024 年度決算
会費	¥2,400,000	¥2,710,000		
事務委託費(郵送費を含む)			¥1,400,000	¥915,831
事務費(事務局)			¥50,000	¥37,623
郵送費(事務局)			¥25,000	¥22,717
各種支払い手数料			¥15,000	¥6,460
会議費			¥50,000	¥27,745
旅費			¥150,000	¥97,740
全国大会開催費(※1)		¥812,005	¥1,300,000	¥1,300,000
研究会等開催費			¥200,000	¥22,274
会誌編集印刷費			¥700,000	¥459,580
会誌売上	¥50,000	¥40,250		
電子化作業費			¥1,200,000	¥0
幹事手当			¥300,000	¥300,000
利子		¥4,019		
小計	¥2,450,000	¥3,566,274	¥5,390,000	¥3,189,970
前年度繰越金	¥7,761,467	¥7,761,467		
予備費/次年度繰越金			¥4,821,467	¥8,137,771
合計	¥10,211,467	¥11,327,741	¥10,211,467	¥11,327,741

(※1)開催校側が前払いの費用を立て替えるという状況为避免のため、「全国大会開催費」の予算を¥1,300,000 に増額した。同費目の収入として記載した¥812,005 は返金額にあたる。

監査の結果、経理内容は適切であり、会計諸表は的確に処理されていることを認めます。

2025 年 4 月 12 日

2024 年度会計監査

2024 年度会計監査

齋藤貴志



由川美音



【資料 2】2025 年度予算案

	収入	支出
前年度繰越金	8,137,771	
会費	2,500,000	
事務委託費（郵送費を含む）		1,500,000
事務費（事務局）		50,000
郵送費（事務局）		30,000
各種支払い手数料		15,000
会議費		50,000
旅費		200,000
2025 年度全国大会開催費(※1)		700,000
研究会等開催費		300,000
会誌編集印刷費		700,000
会誌売上	50,000	
学会誌電子化作業費		750,000
会員検索システム作業費		1,350,000
幹事手当		330,000
小計	10,687,771	5,975,000
予備費／次年度繰越金		4,712,771
合計		10,687,771

(※1)一時立て替え費用を含む